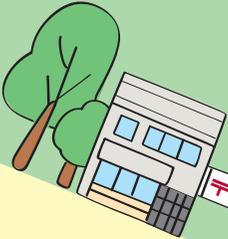




SDGs

Book

エスデージズブック



日本郵政グループ って どんなグループ?

日本郵政グループは、全国の郵便局ネットワークを通じて、郵便・貯金・保険の3事業を中心としたいろいろな商品・サービスを提供しています。そして、この郵便局というかけがえのない財産を基盤にお客さまと地域を支える「共創プラットフォーム」を目指しています。

お客さま

地域・社会

郵便以外にもいろいろなサービスで社会を支えています!

商品・サービスの提供
地域社会への貢献



病院



郵便・物流



じんざいはけん
人材派遣



日本郵政株式会社
日本郵政グループの持株会社です。グループ各社の共通基盤の整備などに取り組んでいます。



日本郵便株式会社
郵便・貯金・保険というグループ各社の商品・サービスを提供しています。

日本郵政グループ



株式会社ゆうちょ銀行
社会に不可欠なインフラとして、「最も身近で信頼される銀行」を目指しています。



株式会社かんぽ生命保険
日本最大級の生命保険会社です。お客さまに簡易で小口な生命保険を提供しています。



不動産



生命保険



銀行

グループの沿革

- 1871 郵便事業創業
- 1873 郵便貯金事業創業
- 1885 通信省発足
- 1916 簡易生命保険事業創業
- 1949 郵政省発足
- 2001 郵政事業庁発足
- 2003 日本郵政公社発足
- 2007 日本郵政グループ発足
- 2015 東京証券取引所市場第一部上場
- 2021 郵政創業150年

社歴

150年以上

1871年(明治4年)、日本近代郵便の父と呼ばれる前島密が、日本に郵便の仕組みを築いたのがはじまりです。

郵便局数

約 24,000局



2022年3月末現在

北海道から沖縄まで、お客さまに寄り添い、サービスを提供しています。

郵便ポストの設置数

約 177,000本



2022年3月末現在

ATM台数

約 32,000台



2022年3月末現在

日本全国にあるよ!

働いている従業員の数

約 39万人

2022年3月末現在

毎日、日本全国の従業員がたくさんのお客さまと会っているよ



多くの専門の資格を持つ従業員が、お客さまの生活を支えるサービスを提供しています。

1日に配達する場所の数

約 3,100万か所

2022年3月末現在

多くのお客さまに日々の生活の中でご利用いただいています。

かんぽ生命保険のお客さまの数

約 2,105万人

2022年3月末現在

通常貯金口座数

約 1億2,000万口座

2022年3月末現在

みんなで一緒に考えよう

ESDってなんだろう

What are SDGs?

SDGs (持続可能な開発目標)とは、世界が抱える様々な課題を解決して、より良い社会をつくることを目指した目標のことだよ。

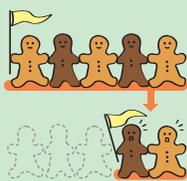
例えば、私たちの周りにはどんな課題があるんだろう？

社会 Q1

日本で2050年に人口が半分以上減ると予測されているのは、全国の居住地域の何%？

- ① 約20%
- ② 約50%
- ③ 約80%

➡ 答えは10ページ



環境 Q2

地球からどんどん森林が減っているよ。1週間でなくなる森林の大きさはどれくらい？

- ① 東京ドームくらい
- ② 東京23区くらい
- ③ 東京都くらい

➡ 答えは12ページ



人 Q3

働いている日本の女性のうち、出産後も継続して働いている人はどれくらい？

- ① 約20%
- ② 約50%
- ③ 約80%

➡ 答えは14ページ

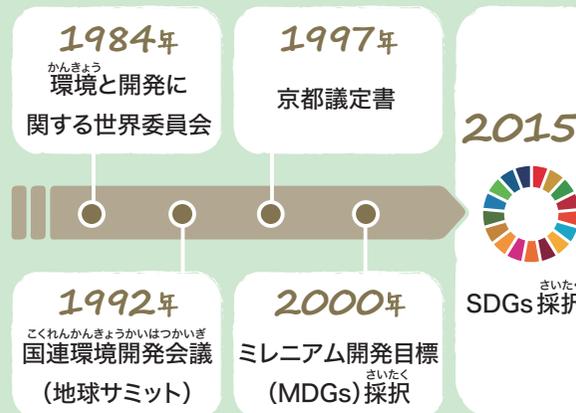


ESD SDGs は私たち一人ひとりが主役！

SDGsは、人々と地球がずっと続くための2030年までの行動計画です。「貧困をなくそう」「気候変動に具体的な対策を」などの17の目標と、169の具体的な取り組み目標(ターゲット)でできています。これらの目標を達成し、より良い未来をつくるためには、地球に暮らすあらゆる立場の人々の協力が欠かせません。



ESD SDGs ができるまで



20世紀後半、経済が急速に成長する一方で、環境破壊や人権問題など、様々な社会課題が目立ち始め、これらの社会課題を解決するための国際的な話し合いが行われるようになりました。そして途上国の貧困の解決を目指した国際目標「MDGs」を経て、途上国だけでなく地球上のすべての人々が取り組むべき目標としてSDGsが誕生したのです。

これらの言葉を知っていると、SDGsについてもの理解が深まるよ！



持続可能

ずっと続けていけること。SDGsは人も地球も持続可能になることを目指しているよ。「サステナブル」ともいうね。



だれ 誰一人取り残さない

SDGsが掲げるスローガン。地球上のすべての人々に向けたアクションとすることを誓っているよ。

ESG

ESG

持続可能な世界の実現のために、企業が重視すべき3つの観点、環境(E)、社会(S)、ガバナンス(G)のことだよ。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2030年に向けた17の目標

<p>1 貧困をなくそう</p> <p>目標1 貧困をなくそう</p>	<p>2 飢餓をゼロに</p> <p>目標2 飢餓をゼロに</p>	<p>3 すべての人に健康と福祉を</p> <p>目標3 すべての人に健康と福祉を</p>	<p>4 質の高い教育をみんなに</p> <p>目標4 質の高い教育をみんなに</p>	<p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p> <p>目標5 ジェンダー平等を実現しよう</p>	<p>6 安全な水とトイレを世界中に</p> <p>目標6 安全な水とトイレを世界中に</p>	<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p> <p>目標7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<p>8 働きがいも経済成長も</p> <p>目標8 働きがいも経済成長も</p>	<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> <p>目標9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>
<p>10 人や国の不平等をなくそう</p> <p>目標10 人や国の不平等をなくそう</p>	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p> <p>目標11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>12 つくる責任つかう責任</p> <p>目標12 つくる責任つかう責任</p>	<p>13 気候変動に具体的な対策を</p> <p>目標13 気候変動に具体的な対策を</p>	<p>14 海の豊かさを守ろう</p> <p>目標14 海の豊かさを守ろう</p>	<p>15 陸の豊かさを守ろう</p> <p>目標15 陸の豊かさを守ろう</p>	<p>16 平和と公正をすべての人に</p> <p>目標16 平和と公正をすべての人に</p>	<p>17 パートナリーシップで目標を達成しよう</p> <p>目標17 パートナリーシップで目標を達成しよう</p>	

日本郵政グループも SDGsに取り組んでいます!

日本郵政グループは、どうしてSDGsに取り組むの?

地域社会が元気で、子どもからお年寄りまで多様な人々が豊かに暮らせる社会を築くことは、地域社会を基盤に事業を営む日本郵政グループの社会的責任であり、日本郵政グループがこれからも存続していくために必要なこと。

日本郵政グループはSDGsに取り組むことで、事業を通じて地域社会とそこに暮らす人々を元気に、豊かにし、一緒に成長・発展していくと考えています。



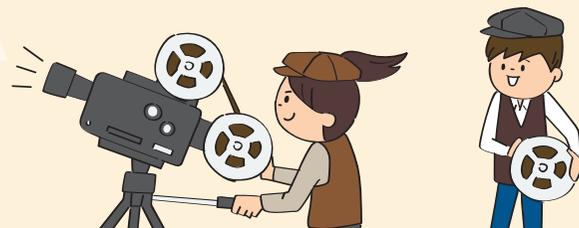
地域を支えること、それが日本郵政グループの原点

日本の郵政事業は、今から約150年前、「縁の下^{えん}の力持ち^{ちからもち}になることを厭^{いと}うな。人のためによかれと願^{ねが}う心を常に持てよ」という信条の下、前島密^{まえじま ひそか}によって創設されました。その精神は現在も受け継がれ、地域社会を支え、発展に貢献^{こうけん}していくとする日本郵政グループの経営理念にも表れています。

日本郵政グループ経営理念

郵政ネットワークの安心、信頼^{しんらい いしずえ}を礎^{もと}として、民間企業^{みんかんきぎょう}としての創造性、効率性を最大限発揮しつつ、お客さま本位のサービスを提供し、地域のお客さまの生活を支援し、お客さまと社員の幸せ^{しえん}を目指します。また、経営の透明性^{とうめいせい}を自ら求め、規律を守り、社会と地域の発展に貢献^{こうけん}します。

縁の下の力持ちに
なることを厭うな
人のためによかれと
願う心を常に持てよ



事業を通じてSDGsに貢献するため、計画の中にSDGsを組み込んでいるよ

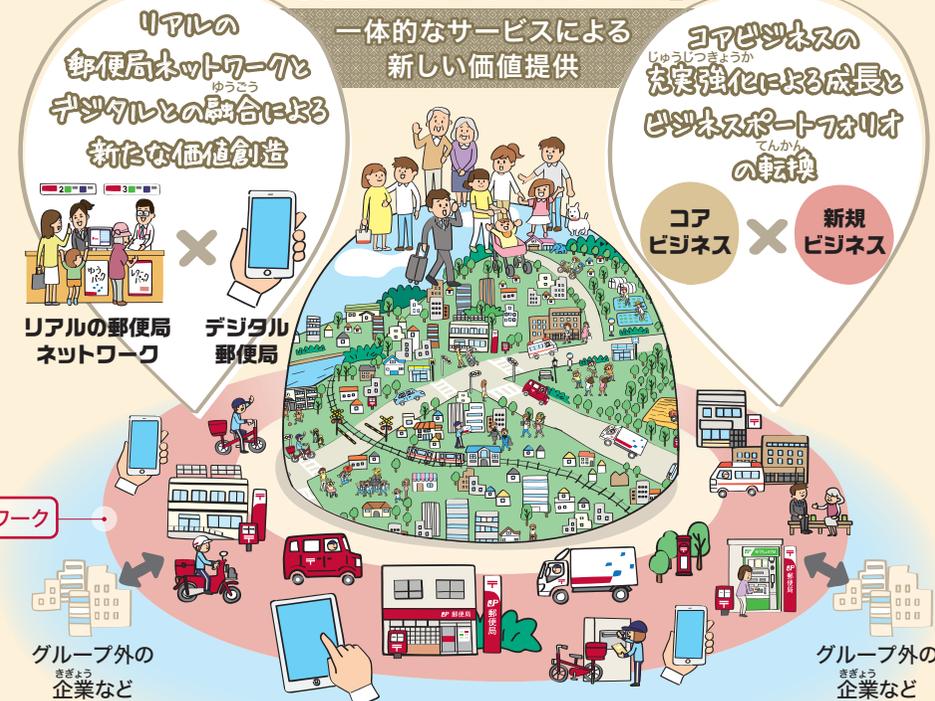
日本郵政グループは、グループ中期経営計画(企業の目的を達成するための計画)の中にSDGsを組み込み、事業を通じてSDGsに貢献することを目指しています。

2025年度に向けて目指す姿	
1 人生100年時代の「一生」を支える <small>3 持続可能な開発目標</small> <small>4 質の高い教育をみんなに</small> <small>9 産業と雇用</small>	<ul style="list-style-type: none"> 郵便局ネットワークの維持とユニバーサルサービスの提供 お客さまのニーズに応じた質の高い金融サービス/安心・安全な金融サービス 健やかで豊かな暮らしの実現(ラジオ体操、健康応援アプリ) 次世代教育(手紙振興、金融教育)
2 日本全国の「地域社会」を支える <small>9 産業と雇用</small> <small>11 持続可能な都市</small>	<ul style="list-style-type: none"> 郵便局ネットワークの維持とユニバーサルサービスの提供 EC市場の拡大に対応する強靱な物流インフラの構築 地域ニーズに応じた多種多様な商品・サービス等の提供による地域課題の解決 ローコストオペレーションの徹底による持続的なユニバーサルサービスの提供 地域への資金循環
3 環境の負荷低減 <small>12 つぶやな消費</small> <small>13 気候変動</small> <small>15 陸の豊かさを</small>	<ul style="list-style-type: none"> 温室効果ガス排出量削減……………目標 2030年度までに46%削減 地域環境への負荷低減に配慮した事業活動の推進 ESG投資の強化
4 人事戦略 <small>5 ジェンダー平等</small> <small>8 豊かさをみんなに</small> <small>10 人や国の不平等をなくす</small>	<ul style="list-style-type: none"> 社員視点に立った働き方改革の推進 ダイバーシティの推進(多様な人材が活躍できる組織に)…目標 2030年度女性管理者比率30% 社員の人材力(能力×意欲)アップ
5 ガバナンス <small>16 平和と公正</small>	<ul style="list-style-type: none"> グループガバナンスの強化 支社・フロントラインのマネジメント機能強化 グループ一体となったリスク管理

日本郵政グループが目指す姿

いろいろな立場の人々と協力しながら、全国にある郵便局ネットワークを使って、みんなが本当に必要とするサービスを提供していきたいと考えています。郵便局がお客さまと地域社会を支える基盤となること、それが日本郵政グループの目指す姿です。

お客さまと地域を支える「共創プラットフォーム」





日本郵政グループが 高校生と連携する意味とは？

持続可能な社会の実現に向けて取り組む日本郵政グループは、SDGsをテーマに社会課題の解決を学習している東京都立千早高等学校(東京・豊島区、以下千早高校)との連携施策を2021年度から進めてきました。高校生との連携にはどんな意味や意義があったのか。これまでの千早高校との取り組みを振り返ります。

これまでの連携の取り組み

- 2021年7月 ワークショップ**
郵便局および豊島区がWin×Winとなる提案を作って発表
- 2021年12月 日本郵政・増田社長にプレゼン**
郵便局を活用した脱炭素の取り組みを検討し、増田社長にプレゼン
- 2022年6~7月 エシカル配送実証実験**
「エシカル」なふるさと小包の効果的なPRにトライ
- 2022年10~12月 ワークショップ**
「社会的課題解決に向けた郵便局の取り組み案」を検討&学校内でプレゼン
- 2023年2月 交流イベント**
千早高校で勝ち抜いたビジネスプランを日本郵政本社でプレゼン&意見交換

詳しくは JP CASTで!

日本郵政本社で千早高校と意見交換 これまでの取り組みを振り返って

2023年2月、日本郵政本社にて千早高校との交流イベントが行われました。イベントの第一部では、千早高校の生徒たちが「社会的課題解決に向けた郵便局の取り組み案」を発表。第二部ではこれまでの取り組みを振り返って意見交換を行いました。

社会課題の解決とビジネスをどのように両立させていけばいいのか、共に考えてきた千早生と日本郵政グループ。その時間と経験は双方に大きな価値をもたらしました。



学校教育だけでは得られない、リアルな体験の機会を提供してもらえた

ワークショップでは、3年生全員がチームに分かれて日本郵政グループの社員の方と一緒に議論しました。学年全員が企業と連携してひとつの学習に取り組むというのは、教員歴30年の中でもないことです。まさにSDGsの目標10(不平等をなくそう)や16(平和と公正)に当てはまる取り組みだと思います。生徒たちはこの連携施策を通じて、教師の私には与えられない、多くの気づきを得ていました。貴重な機会をいただき本当にありがとうございました。

持続可能な社会はどうしたら実現すると思う？

SDGsは難しい問題だという認識が壁をつくっていると思います。私たちにできることはもっと身近にあって、それに一人一人が取り組むことが大事だと思っています。

日本郵政グループと取り組んでみてどうだった？

多様な価値観があることや、身近な課題を自分事化して考える大切さを学びました。SDGsについて楽しく学べる、このような取り組みがもっと増えたらいいと思います。



千早高校主幹教諭 藤井 宏之先生



千早高校3年 依山さん



千早高校3年 大森さん



千早高校の皆さんの自由な発想から 多くの学びがありました



豊島長崎六郵便局長 西原 直希

今後も皆さんとの取り組みをつなげていきたい

皆さんは、今すぐ社会に出て活躍できると思います。自信を持って千早高校で学んだことをぶつけてほしいと思います。そして将来、郵便局と一緒に働いてほしい人が出てきてくれたらうれしいです。

ファーストペンギンとして、共にチャレンジし続けましょう

皆さんの柔軟で大胆なアイデアは、現状ですぐに実現できないものも多いです。しかし何か工夫すれば実現できるのではないかと考えさせられました。困難でもチャレンジしなければ何も変わりません。もっと若い方に来ていただける、魅力ある郵便局に変わらなければならないと痛感しました。



豊島千川駅前郵便局長 南雲 英雄



人事部執行役員 三苦 倫理

お客さまにどんな価値を届けられるのか、ユーザーと一緒に考えてきたことに価値がある

日本郵政グループはどのような価値をお客さまに届けることができるのか。それをユーザーである千早高校の皆さんと一緒に考えることができました。皆さんとのコラボレーションは、確実に社員の価値向上につながったと思います。

皆さんの自由な発想は、私たちに原点回帰の機会を与えてくれた

皆さんの自由な発想は、自縄自縛から逃れられない私たちに多くの気づきやインスピレーションを与えてくれました。本当に貴重な時間・機会だと思っています。改めて感謝申し上げます。



日本郵政常務執行役員 浅井 智範

日本郵政グループは、若い世代に質の高い教育の機会を提供するとともに、地域の皆さんと一緒に、社会課題の解決を目指していきます。千早高校の皆さん、ありがとうございました!



JP CASTで詳しく紹介しています



日本郵政グループの取り組みを紹介ししょうかいます

社会

事業を通じて、地域社会が抱える課題などの解決を目指し、地域社会と持続的に共生していこうとしています。

- 3 すべての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 11 住み続けられるまちづくりを

クイズの答え

人口が半分以上減る居住地域は

約50%

人口減少、少子高齢化、都市部への人口集中が加速しています。2050年には全国の居住地域の約半数で、2015年に比べて人口が50%以上減るとの予測も。労働者不足、地方経済の衰え、インフラの維持・整備の滞りなど、様々な課題が生じると心配されており、その解決が求められています。

参考:国土交通省

取り組み

1 次世代モビリティを活用して、物流を効率化しています



2022年度はオフィスビル内で配送ロボットの検証をしたよ。ロボットが地下の物流センターから荷物を受け取って、エレベーターに乗って配送先のフロアに移動して荷物を届けるんだって!

日本郵便は、労働人口の減少、地方の過疎化などの社会課題や、荷物の取扱量の増加などの変化に対応し、これからも郵便物や荷物を安定してお届けするために、ドローン、配送ロボット、自動運転、配達業務へのAI活用などの新技術を活用しています。

JP CASTも見てね!

JP CAST 連載

『未来の物流レポリューション』



私たちの生活に欠かせない「物流」。日本郵政グループの物流の未来をつくるために改革を起こすキーパーソンへのインタビューを通して、これからの街や暮らしを支えていく物流の未来像をJP CASTで紹介しています。

未来の物流レポリューション



取り組み

2 災害への対応を進めています



大規模災害が発生した際には、災害から復旧するための支援を迅速に行っています。また、地方公共団体やNPO、NHK、NTT、ローソンといった他企業と連携しながら、災害に強く安心して暮らせる地域づくりを進めています。

新たなサービス「防災ゆうストレージ」[※]

長期の避難生活に備え、あらかじめお客さまから預かりしていたものを、地震や災害が発生した際に避難先などへゆうパックでお届けするサービスだよ。



防災ゆうストレージ

^{きょうどうさかぐ}
※寺田倉庫株式会社との共同企画です。

詳しくは JP CASTで!



グループでもこんな取り組みをしているよ!

こんな取り組みもしているよ!

日本郵便

ゆうびんきょくキッズサイト

ゆうちょ銀行

地域活性化ファンドへの出資

かんぽ生命

ラジオ体操の普及促進

サステナビリティサイト
地域社会と共に

<https://www.japanpost.jp/sustainability/society/>



日本郵政グループの取り組みを紹介ししょうかいます



環境

事業が地球環境に与える負担を減らしたり、自然を守るための活動を行ったりしています。

12 つくる責任 つかう責任

13 気候変動に 具体的な対策を

15 陸の豊かさも 守ろう

クイズの 答え

1週間でなくなる 森林の大きさは

東京都 くらい!

2015～2020年の間に減少した森林の大きさは、平均で年間1,020万ヘクタール。これは2.2秒ごとにサッカーフィールド1面分、1週間で東京都と同じくらいの大きさの森林が減少していることとなります。森林の減少は、水や土地の質の低下や、動植物の絶滅、二酸化炭素の吸収量の減少など、私たちの生活に深刻な影響をおよぼすと考えられています。

参考:FSCジャパン、WWFジャパン



取り組み

1

環境配慮型郵便局「+エコ郵便局」の推進

日本郵便では、CLT*の利活用と環境負荷の小さい自家発電などを組み合わせた、環境に配慮した郵便局「+エコ郵便局(ぶらすエコゆうびんきょく)」の建設を推進しています。「+エコ郵便局」第一号店舗として丸山郵便局(千葉県南房総市)を旧店舗から移転のうえ、開局しました。



丸山郵便局の外壁には、地域の皆さんと一緒に地元千葉県の杉板から作った「焼杉」が使用されています。焼杉とは、文字どおり「焼いた杉板」のことで、西日本に伝わる伝統的な外装材です。内覧会に訪れた子どもたちは自分たちが作った焼杉の外壁の前で終始笑顔を見せていました。

※CLT(クロス・ラミネイティッド・ティンバー)とは、長い板状の木材を縦横交互に張り合わせた厚型のパネルのことだよ。強度、耐熱性に優れていて、コンクリートや鉄に比べてCO₂の発生を抑制するんだって。



JP CASTで詳しく紹介しています!



#みんなで作るみんなの郵便局 +エコ郵便局 Vol.1
焼杉製作ワークショップを開催



#みんなで作るみんなの郵便局 +エコ郵便局 Vol.2
みんなで作った焼杉を外壁に使った丸山郵便局が完成!

丸山郵便局以降も「+エコ郵便局」を設置し、地域のカーボンニュートラル化の推進に取り組んでいます。



宗像東郷郵便局(福岡県)



糸崎郵便局(広島県)



伊予郵便局(愛媛県)



一身田郵便局(三重県)



当麻郵便局(北海道)



城山郵便局(神奈川県)

各地でカーボンニュートラルに取り組んでいます



こんな取り組みもしているよ!

日本郵便

- カーボンニュートラル化の推進
- FSC® 認証を受けた紙をはがきに使用

ゆうちょ銀行

- 無通帳型総合口座の取扱いをはじめとした紙の削減

かんぽ生命

- 紙使用量の削減(ペーパーレス化)の取り組み、環境保全活動の支援

サステナビリティサイト
地球と共に
<https://www.japanpost.jp/sustainability/environment/>

サイトでも紹介しているよ



日本郵政グループの取り組みを紹介ししょうかいます



グループの事業活動にかかわるすべての人々の人権を尊重するとともに、社員一人ひとりが能力を発揮できる職場づくりに取り組んでいます。

取組み

1 様々な社員が、いきいきと働ける職場づくりを目指しています

約39万人の社員が働く日本郵政グループでは、社員が持つ様々な視点や価値観を尊重し、社員一人ひとりがいきいきと、その能力を十分に発揮して活躍できるような職場づくりに取り組んでいます。また、女性、外国人などの多様な人材が最大限に能力を発揮できるよう、人材育成などにも力を入れています。



14.3% → 30%

2022年4月現在のグループ4社・本社女性管理職割合

2030年度グループ4社・本社女性管理職割合目標

郵便局のお客さまの6割は女性。女性社員がもっと活躍できるようにすることは、お客さまにより良いサービスを提供することにつながると考えている。女性リーダーを増やすため、働き方の見直しや、キャリア形成支援、研修なども行っているよ。

注：本社以外においても、管理者・役職者を増やすための環境整備・人材育成などを進めることとしています。

他にも、多様な性のあり方が尊重され、グループ社員全員がいきいきと能力を十分に発揮し、活躍できる会社・職場を目指すための制度変更などにも取り組んでいます。

2022年5月～「配偶者」の定義を同性パートナーまで拡大しました。同性パートナーの場合も右記の手当・休暇制度などが利用可能になっています。

2022年11月「グループ共通 ダイバーシティ強化月間」として、性の多様性などのテーマについて、職場勉強会と管理者向け理解度自己診断を実施しました。

手当	扶養手当、住居手当、寒冷地手当、単身赴任手当
休暇・休業	介護休業、介護休暇、子の看護休暇
その他	世帯住宅

クイズの答え

出産後も働き続ける女性は

約50%

出産・育児を機に退職した女性の退職理由(令和2年度)を見ると、「両立の難しさで辞めた」(41.5%)が1位となっています。仕事と育児を両立できる社会の実現には、男性の育児休業取得の推進など、男女問わずワーク・ライフ・バランスのとれた働き方ができる職場環境の実現が求められています。

参考：厚生労働省



取組み

2 日本郵政グループにかかわる人々の人権を尊重し、安心して働けるようにしています

日本郵政グループは、グループの事業活動にかかわるすべての人々の人権を尊重し、「日本郵政グループ人権方針」を定めてその姿勢を示したり、社員一人ひとりの意識を高めるための啓発活動を行ったりしています。また、過剰な労働時間を減らすなど、社員が安心して働くための取り組みも行っています。



「国連グローバル・コンパクト」は、「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」の4分野で、企業が守るべき10の原則を定めたイニシアチブ。日本郵政は2008年5月から加入しているよ。



人権擁護の支持と尊重

強制労働の排除



こんな取り組みもしているよ!

Ally(アライ)※表明用のぼすくまも登場しました

※ Ally(アライ)とは「LGBTQ当事者に共感し、寄り添いたいと思う人」を表す言葉です。「多様な価値観があることを知り、学び、向き合う」姿勢があれば、誰でも「Ally」と表明することができます。

ぼすくまは日本郵便のキャラクターです。

ぼすくま



性の多様性を尊重します

サステナビリティサイト
人と共に
<https://www.japanpost.jp/sustainability/human/>



サイトでも紹介しているよ



SDGs Book ナビゲーターのご紹介 しょうかい

「日本郵政グループ女子陸上部」は、駅伝を中心とした中長距離選手ちゅうちゅうきょりせんしゅの育成支援と同時に、スポーツ活動を通じた地域社会への貢献こうけんを目指しています。「手紙をお届けする郵便」と「たすきをつなぐ駅伝」、そして「未来へたすきをつなぐ取り組みであるSDGs」との親和性から、『SDGs Book』のナビゲーターのモチーフにしました。「皆(みな)でみらいへたすきをつなぐ」という日本郵政グループの思いが、それぞれのキャラクターの名前の由来となっています。



みな



みらい



たすき



つなぐ

日本郵政グループ女子陸上部の公式FacebookやYouTubeで、チームの活動状況じょうきょうや選手コメント動画などの最新情報をお届けしています。

Facebook



YouTube



郵便局の魅力を発信するメディア



ポストから事業改革、スポーツまで、あなたがまだ知らない郵便局のひみつをお届けします。

JP CAST
Web サイト



JP CAST
公式アプリ



JP CAST

検索



森の町内会
間伐に寄与する紙
www.mori-cho.org



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用役立ちます。



印刷工程では、植物油インキを使用し、有害廃液を出さない水無し印刷方式を採用しています。



読みやすさに配慮された「ユニバーサルデザインフォント」を採用しています。